



## 「平和を創って生きていこう」

新年度の初め、子どもたちに「平和を創って生きていこう」と投げかけました。子どもたちは、さまざまな活動を通して、考え合って、また、やってみて、間違ってみて、想像してみ、自分の幼稚園生活がどんなに平和で幸せであるかを実感しながら、確認しながら過ごしてきました。やがて秋には、子どもたちの心の中に感謝の心が育ち始めました。

朝、登園して学級に集まると、挨拶をし合い、幼稚園に来れたこと、友だちに会えたことに感謝し、休みの友だちを思い、1日が始まります。お弁当の時間には、お母さんやお父さんさんが作ってくださったお弁当があることに感謝していただきます。戦争が話題になった時は、現状を知り、その国の出来事に心を傷めるとともに、身の周りに立ち返らせ、1日の中でもいろいろなことがあるけれど、どんなに幸せな世界にいることかと溢れるほどの感謝の心に満たされます。年齢によって理解の幅はありますが、誕生会の経験を通し、友だちの誕生日を祝いながら神様が命をくださり、お父さんとお母さんが育ててくださったことに感謝してきました。また、帰りには、1日の出来事を感謝し、明日もこの仲間と会えますように、時には健康を守ってくださいと祈りを込めて別れます。

発表会では温かい眼差しでご覧いただきましてありがとうございます。発表会のテーマを子どもたちの生活そのままの「平和を創って生きていこう＝自分たちに出来ること」としました。

4つのチームに別れ、一つの劇を作り上げていきました。風邪が流行ってなかなかメンバーが揃いませんでしたが、平和について考え合っていました。自己中心的な考えではなく仲間を思いやりながら、「自分にできること」を見つめてきました。

一つのチームでは、愛の歌も歌えない、お花もないのは愛の国ではなく、爆弾の国では平和ではない愛のパワーで愛を守ることが大切なこと。一つのチームでは大雨のため山や川が危険であることをニュースキャスターが伝え、カメラマンが現れ警察官が、安全な場所に誘導してくれました。レスキュー隊が取り残されている人たちを助けに行きました。医者がきて怪我した人がいないか聞いて回りました。またあるチームでは食べ物のない国を思いました。私たちの幼稚園で育てて食べた経験を活かし、畑作りを充実させ、野菜を送ろう。相談しているうちに、肉も魚も大切だ。トラクターも、軽トラも必要だ。靴もトイレも必要だ。貧しい国の写真を見て研究しているうちに赤十字になって助けに行こうということになりました。もう一つのチームでは、愛のサミットが開催されました。友だちがいない人には、得意なことがないという人、悲しくて涙が止まらない人には、失敗した

らどうしようと悩む人には、、、子どもたちの考えた平和の答えが溢れてきました。

神さまが愛をくれて命をプレゼントしてくれたこと。何よりも人のことを思う気持ちが大切だと知らせようと訴えました。そして何度も、みんなで「平和を創って生きていこう」と言い合いました。

この幼児期に、こんなに平和のために考え合い、表現できる子どもたちは他にいるでしょうか。大切なことは、平和の中でぬくぬくと生きることではなく、自分たちが平和を作り出していくということです。それには自分ばかりの心を捨てて争いを避け、平和を創りだしていく努力をしていくことです。子どもたちがそのことに気づき、劇ごっこを通して学び合い自分の思いを語れたことは、素晴らしいことだったと思います。これから先の人生においてどんなに役立っていく力だろうかと思えます。

たくさんの感想をいただきました。大切に読ませていただいています。改めて保護者の皆様の熱い感想にまた感動しています。ありがとうございました。

本日は、「こひつじ音楽会」の日でした。千原さんは、ママクラブとして保護者の皆様に「こひつじ音楽隊」募集の声をかけてくださいました。まだまだ隠れた才能の方がおられることでしょう。仕事のご都合で参加できなかった方、体調不良で参加できなかった方もいらしたと聞きました。OG も加わり編曲に携わってくださり、バックアップしてくださいました。また、元音楽隊としてこひつじ幼稚園をお支え下さった OG の皆様が音楽の会を楽しみにお客様としていらして下さったことは、本当に嬉しいことでした。子どもたちだけではありません。保護者の皆様も共に、平和を創り出す仲間でありました。こひつじ幼稚園は、人のために、みんなのために自分にできることを出し合える世界だと心から嬉しく思いましたし、その中にいる私ももっともっとできると力をいただきました。音楽隊の皆様にも、心からお礼申し上げます。

こうして濃く、熱く、楽しく過ごしてきた2学期が終わろうとしています。今度は、みんなでクリスマスの意味を学び合い、自分の心と向き合わせたいと考えています。教師一同、素晴らしい締めくくりをしたいと打ち合わせたところです。どうぞよろしくお願ひします。